

## 第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

### 報告書資料 復興支援 - 26

学校名・団体名	熊本市立城南中学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	「地域」に根ざした総合的な学習の時間

#### 〈活動・研究の意義および活動報告〉

##### 1. 活動・研究の意義・目的

本校の総合的な学習の時間は、地域に受け継がれている文化や伝統、自然環境や人材・施設を生かした体験活動を主体とした特色ある取組みを行っている。自分が生まれ育った我が故郷への思いと感謝の念を深め、郷土愛に支えられた豊かな感性あふれる生徒の育成、そして、地域との関わりの中から自分の生き方を考える生徒の育成を目指すと共に、平成11年度より続くこの活動を受け継ぎ、故郷を愛し、誇りとする人間育成を目指す。

##### 2. 時期及び内容について

郷土愛に支えられた豊かな感性あふれる子どもが育ち、自分の生き方を考えるきっかけが地域との関わりの中から生まれ、夢と希望にあふれ、いきいきと活動できる時間として、総合的な学習の時間を「ハートフル城南」と名付けている。

3年間を見据えた系統性のある活動の中で、1年生では「校区を調べ隊」、地域を知る活動を、2年では「校区で働き隊」として、地域を感じる活動（職場体験学習）、3年では「校区を誇り隊」として、地域で極める活動（地域のプロ（講師）の方々からの学び・技を習得、3年間の活動の集大成）を行っている。1年生は週1時間、2・3年生は週2時間を目安として、4月から10月までの活動を行った。

##### 【4月から9月】

4月の全校生徒への「ハートフル城南」のオリエンテーションで、学習活動の系統性、実際の内容、3年間の総合的な学習の時間の取組みについて知る。

1年生は、「自然・環境」、「歴史・文化」、「教育・福祉」、「地域産業・伝統工芸」の4つのコース中で、希望調査を行い、各コースに分かれ、それぞれのテーマをもとに調べ学習を進めていった。例えば、「歴史・文化」コースでは「川尻の伝統工芸について」というテーマを設定し、調べ学習、伝統工芸館での現地学習を行った。川尻の刃物、桶、染め物等について、多くの学びを得た。9月末にポスターセッション形式で学年発表会を行った。

2年生では、地域の53ヶ所の事業所に協力していただき、職場体験学習を行った。熊本地震後の復興へ向かう状況の中でも、事業所の方々の理解と支援があり、今年度もこれまでとほとんど変わらぬ事業所に受け入れをしていただいた。懐開世利六菓匠の和菓子店、神宮、消防署など多種多様な職業から自分が選択した事業所で働くという体験学習をさせていただいた。体験後は、個人新聞の作成を行い、3日間の事業所での体験、そして、そこで学んだこと、感じたことをまとめ上げた。

3年生では、「自然探求」、「自然農業」、「伝統芸能」、「伝統木工」、「福祉介護」、「和の文化」、「企画運営」の7コースから、各自がコースを選択し、コース決定後、地域のプロ（職人）からそれぞれの技を習得していった。



#### 「自然探求」コース

講師は、NPO 法人みずのとらべる隊の方々であり、緑川流域の環境保全活動、校区を流れる加勢川の歴史や外来種生物が及ぼす影響に加え、防災についても学んだ。

#### 「自然農業」コース

講師は、地元農家のお二人であり、本校近くの畑をお借りして、野菜・米づくりを行い、収穫するまでの様々な作業過程を経験する中で、自然の恵みのありがたさや農作物を育てる苦労も学んだ。

#### 「伝統芸能」コース

講師は、一般社団法人舞踊団の中村花誠様であり、大太鼓、小鼓などの鼓による演奏を学んだ。和楽器の難しい楽譜の読み方や音源をもとにリズムを学んだ。「供奴」などの練習に励んだ。

#### 「伝統木工」コース

講師は、地元「川尻六工匠」の皆様である。設計、鉄板、建具、電気工業、工務店、竹細工と様々な分野の専門職人の方々の貴重な講話を聞き、また、実技体験をさせていただいた。

#### 「和の文化」コース

講師は、地元でも華道・茶道教室を開かれている玉真てるみ様と懐開世利六菓匠の「梅園」店主の片岡圭助様である。華道・茶道の基本を学び、和菓子作りもプロの技を体験することができた。

#### 「福祉介護」コース

講師は、特別養護老人ホームの全面的な協力のもと、職員の方々を派遣していただき、認知症についての講義を受け、認知症サポーターとなることができた。施設での交流も行うことができた。

#### 「企画運営」コース

講師は、熊本県地域作りアドバイザーである岡裕二様に、企画運営に関する講義を受けた。各学年の展示、ステージ発表、展示物の配置、プログラム作成、MC 原稿作りなど、各行程について準備を進めた。

### 【10月】

10月9日「ハートフル城南フェスティバル」(学習発表会)にて、保護者や地域の方、講師の方々をご招待し、全校生徒の総合的な学習の時間で学んだことや教科・特別活動等で学んだことの発表を行った。今年度は、テーマ「Link ～この瞬間を永遠に～」として、これまでの伝統を受け継ぎ、これから先の未来へとここでの学びや思いをつなげていきたいという意味を込めた。

1・2年生は調べ学習、体験学習を経て、そこから学んだことを新聞やポスターにまとめて展示したり、パワーポイントや劇でステージ発表を行い、学習内容を発信した。

3年生は、各コースで学んだことをパワーポイントや実演をもとにステージ発表を行った。「伝統芸能」コースは午後のステージ発表で、多くの観客の中、太鼓や小鼓の素晴らしい和の演奏を成し遂げた。

「和の文化」コースは、お茶席を用意し、お茶をふるまい、早朝からの団子作りで作り上げた和菓子の販売、「自然農業」コースでは、収穫したサツマイモや無農薬米の販売を行った。体育館後方やピロティエの展示スペースでは、「伝統木工」コースの作品、「福祉介護」コースの模造紙での学習のまとめを行い、これまでの学びの集大成を存分に披露した。

### 3. 成果や生徒たちへの効果

全国学力状況調査の質問紙調査の中で、総合的な学習の時間に対する本校の生徒たちの達成感がとても高い。総合的な学習の時間を系統的に組み立てていること、地域の人材を活用していること、生徒達自らが活動内容を選び、調査したり、体験したりするなど、主体的な活動が成果につながっているように思う。総合的な学習の時間の目指す「生きる力」の育成と地域に学び、地域に育まれ、成長していることを生徒達自らが体感できる取組みは、本校のよき伝統的な学習活動の場であり、誇れるものである。



熊本地震で活動が十分にできないこともあったが、それでも、地域の方々、講師の方々のあたたかなサポートがあり、活動を進めることができています。生徒達は、さらに活動を盛り上げ、復興中のこの地元熊本を元気にしたいという思いをそれぞれが持ち続けている。本校の地域は震災で液状化が起き、多くの住居が再建の状況にある。そのような地域の状況を見ながら、1・2年生の調べ隊や働き隊も地域の方々とのふれあいも行った。中学生である本校生徒が、総合的な学習の活動をもとに、さらに地域を愛し、地域のよさを引き継ぎ、地域とつながっていこうとする姿勢を大切にしていってほしいと期待している。生徒の感想の中に、「地元こんなに素晴らしい伝統があり、その技を自分たちに教えてくださり、とても嬉しかった。地域を誇り、自分が地域にできることをしていきたい。」「福祉介護について多くの知識を得て、さらに、学びたいと思った。この貴重な体験をぜひ、これからの自分の将来につなげたいと思った。」というものがあつた。また、講師の方の中にも、「自分の使命として、中学校に関わっていきたい。私が教えられることを、ぜひ、伝え、教えていきたい。」というお言葉をいただいた。これからも地域の大きな支えに感謝しながら、城南中学校の生徒達をしっかりと育てていきたい。